



## 畝田・寺中遺跡

遺から  
跡ら

# 加賀郡の「田領横江臣」

出土！  
木簡

### よこえのおみもっかん 横江臣木簡 Q & A

Q1 どこから発見されたのですか？

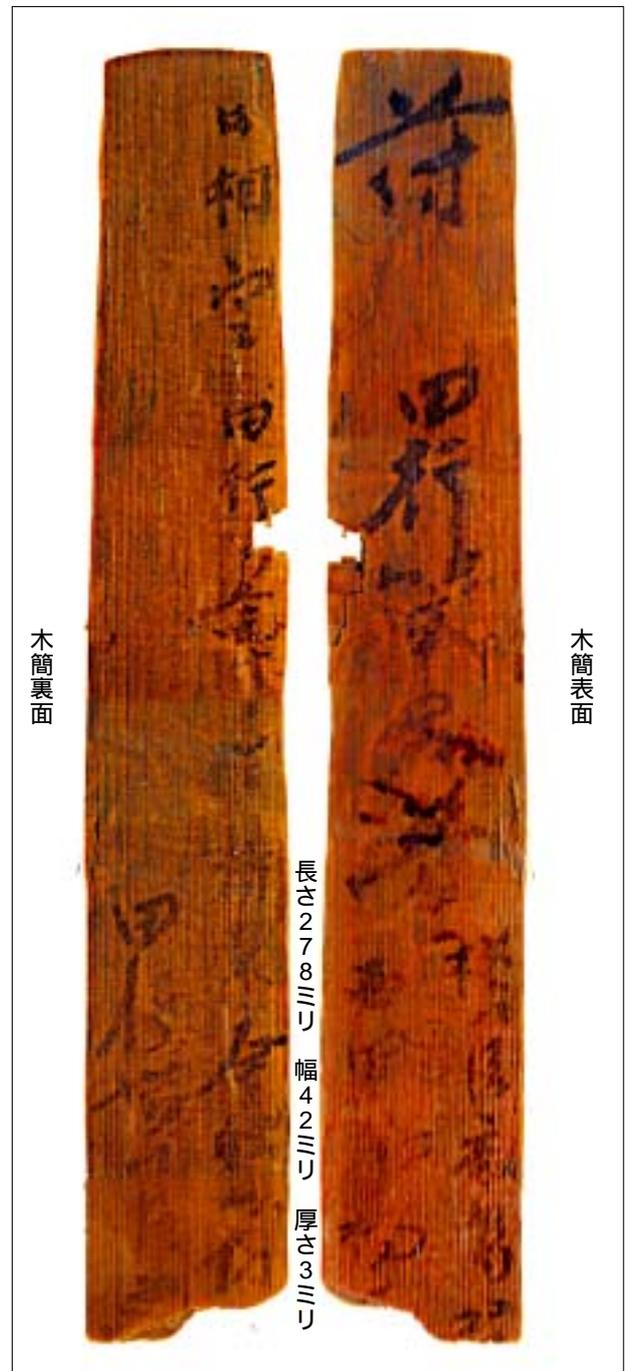
A 金沢市畝田西3丁目にある畝田・寺中遺跡の奈良時代の溝から見つかりました。

Q2 どんな内容が記されていますか？

A 加賀郡の役人が、「田行でんぎょう (= 役職名とみられる)」を務めていた「笠かさ (某)」という人に対して、「口相宮くしあみや (読み方不詳)」に「横江臣床嶋」他の数名の者を連れて行くよう命じた文書です。執行責任者として「田領横江臣でんりょう (某)」の署名が裏面左下にあります。

Q3 この木簡から何がわかるのですか？

A 『日本霊異記』という仏教説話集におさめられた説話の一つに、奈良時代の加賀郡大野郷畝田村の住人として「横江臣成人」という人物が登場するのですが、この木簡の発見により、実際に横江臣の一族が奈良時代の畝田村を舞台に活動していたことが確認されました。また、一族の中には「田領 (= 郡の実務担当役人)」を務めるような者がいたこともわかります。この木簡の発見によって、これまでよりも一層具体的に加賀郡の古代史を語るできるようになったといえるでしょう。





成人は語る！か？

説話のあらすじ  
 諸国で修行中であつた寂林法師は畝田村に至つた西暦七七〇年の冬、夢で横江臣成人の亡母、成刀自女に会う。成刀自女は成仏できずに苦しんでおり、幼少時に乳を与えなかつたことを成人が許してくれたれば成仏できるのだと法師に訴えた。法師は夢から覚め、同村に住む成人の所へ赴き、夢の記憶がなげける。幼くして別れた母の記憶がなかつた成人であつたが、近在の姉の言により、自分を捨てて他の男へと走つた母の事を知る。衝撃を受けたはずの成人であるが、氣丈にも「全然、恨みに思つてない」とし、母の成仏を願つて仏事を行った。成刀自女はその後法師の夢に再び現われ、安らかに成仏できた旨を喜んで告げた。



これは、「こんべん」に「五」に「口」で「語」という字だね。わあ！左にも「語」がいっぱいあるよ！



2



あれ！博士、この土器には墨で字がかいてあるよ！

これは墨書土器というんじやが、木簡が見つかつた畝田・寺中遺跡からはこのような墨書土器が300点以上も見つかつておるんじや。

1

「語」に「成」るに「人」、つまり「語成人」。あれ？博士、「成人」ってまさか…！



4

確かに「語」が多いようじやね。では、これはどうじやる？

これも畝田・寺中遺跡から見つかつたものじやが…。

3

だとしたら、すくなくない？他に人の名前を書いた墨書土器ははないの？

「枚人」とか「奈刀女」とか…。



7

…ギョ！

6

あははは…、どうじやるね？

きつとそうだと思ふな。「成人」なんだもん。てことは、「語」は苗字で、木簡にも出てきた「横江臣」のことだったりして…

5

あーっ！はか・せい！

だ！大発見かもしれん！上司に報告せねば！失礼するよ。じゃ！

ホントかよ～

END

8

「横江臣成刀自女」、名前は「成刀自女」、ナリトジメ「じゃが…あつ！

9

「枚人」か、「人」は成人さんと同じだね。「奈刀女」さんは女の人みたいだけど、「ナトメ」と読めばいいんだよね。ナトメ・ナトメと。ん？博士、成人さんのお母さんの名前って確か…

8

## 鳳至町畠田遺跡



調査区全景（北東より）

ふげし まちはたけだ  
鳳至町畠田遺跡は輪島市の中心部を流れる鳳至川流域の海岸平野に立地する集落遺跡です。調査では井戸や掘立柱建物、溝などが見つかっています。

井戸や溝などからは須恵器の坏や土師器の甕などが出土し、その年代から8世紀後半から9世紀にかけての遺跡であることがわかりました。調査区中央には東西方向の溝があり、その北側に井戸、南側に建物が方向を揃えて整然と配置されています。また、墨で字が書かれた須恵器の坏も見つかった

ており、役所的な性格を持った遺跡であるといえます。

その頃、奥能登には鳳至郡が置かれていたことが文献に記述されています。鳳至町の地名や今も残る東西・南北方向の地割などから輪島に郡役所があったのではないかとありますが、正確な位置についてはわかりません。今回の発掘調査の成果だけでは結論を出すことはできませんが郡役所が輪島に、しかも鳳至町周辺にあった可能性が高くなったと言えるのではないのでしょうか。いずれにせよ輪島市街地では初めての本格的な発掘調査で、奈良・平安時代の輪島を知る手がかりとなりました。



井戸



井戸の調査状況



遺跡周辺の南北方向の道

## 平成14年度 発掘速報会



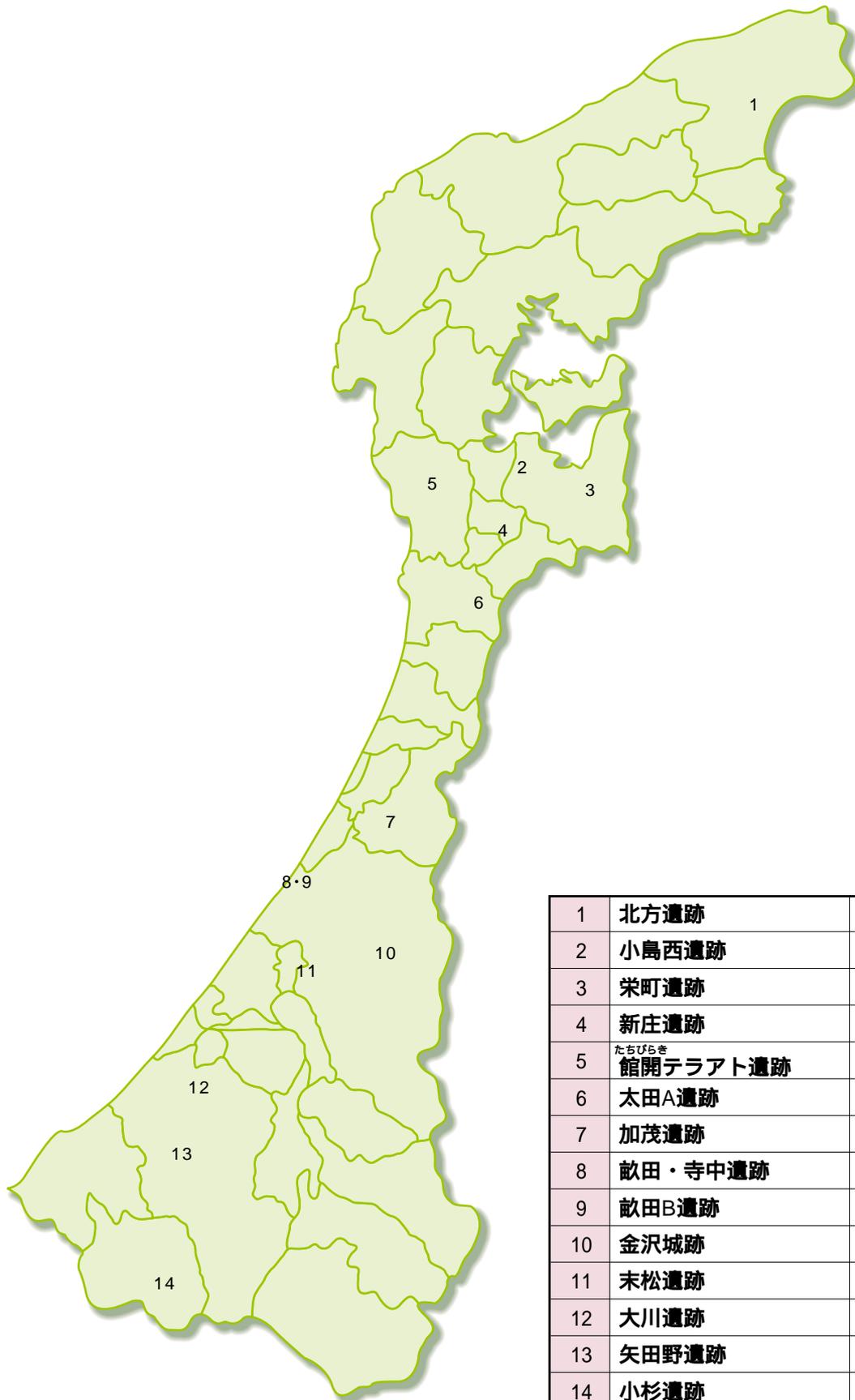
平成15年3月9日(日)石川県立社会教育センター4階講堂において「発掘速報会 - よみがえる石川の遺跡 - 」が催されました。県内各地で行われた発掘調査の最新情報についてスライドなどを交えながら担当調査員本人がわかりやすく報告する一般対象の公開講座です。平成10年度から毎年行われており、毎回たくさんの方々にお集まりいただいております。

今回の講座では、縄文時代の「山中町小杉遺跡」から中世の「金沢市朝日山城跡」まで県内各地の7遺跡の話がありました。いずれも現地説明会や新聞報道などで大きく注目されている遺跡で、地域の歴史解明につながる新視点なども報告されました。「山中町小杉遺跡」では配石墓と竪穴建物が検出され、縄文時代の墓制や集落構造を考える上で興味深い発見があったことが報告されました。また、昨年度に引き続いての報告となった「七尾市万行遺跡」では日本最大級の規模を誇る大型建物群が2時期にわたり造営されていることなどが新たに明らかとなり国指定史跡として申請し保存・活用していく予定であるということでした。

発掘調査された遺跡の中には整備に向けて調査された加茂遺跡や万行遺跡などありますが、ほとんどの遺跡は発掘調査後の開発行為によって道路や建物になってしまいます。発掘調査の生の情報を多くの方々に伝えることのできる貴重な機会であるため担当調査員の熱心な報告で予定時間をかなり超過しましたが盛況のうちに閉会となりました。

遺跡名	所在地	主な時代	調査機関
小杉遺跡	江沼郡山中町小杉	縄文時代	(財)石川県埋蔵文化財センター
万行遺跡	七尾市万行町	古墳時代	七尾市教育委員会
加茂遺跡	河北郡津幡町加茂	奈良・平安時代	津幡町教育委員会
畝田・寺中遺跡	金沢市畝田西	奈良・平安時代、中世	(財)石川県埋蔵文化財センター
畝田ナベタ遺跡	金沢市畝田東	奈良・平安時代	(財)石川県埋蔵文化財センター
二ツ梨豆岡向山窯跡	小松市二ツ梨町	奈良・平安時代	小松市教育委員会
朝日山城跡	金沢市加賀朝日町	中世	金沢市埋蔵文化財センター

# 平成15年度 発掘調査遺跡(4月～7月)



1	北方遺跡	珠洲市上戸町北方
2	小島西遺跡	七尾市小島町
3	栄町遺跡	七尾市栄町
4	新庄遺跡	鳥屋町新庄
5	<small>たちびらき</small> 館開テラアト遺跡	志賀町館開
6	太田A遺跡	羽咋市太田町
7	加茂遺跡	津幡町加茂
8	畝田・寺中遺跡	金沢市畝田西他
9	畝田B遺跡	金沢市畝田中
10	金沢城跡	金沢市広坂
11	末松遺跡	野々市町末松
12	大川遺跡	小松市大川町
13	矢田野遺跡	小松市矢田野町
14	小杉遺跡	山中町小杉町

# 平成15年5～9月の催しものと展示

いずれも参加・体験料金は必要ありません。

## 学習講座

・古代体験ひろばを会場におこなう、個人や家族連れを対象とした体験講座です。

講座名	実施日	募集人数	募集対象	内容
まが玉づくり	5月31日(土)	20名	小学校5年生～一般	石のまが玉、ガラス小玉で飾った自分だけの首飾りをつくります。
古代機織り体験	6月21日(土)	20名	小学校5年生～一般	縄文布「アンギン」や、原始機での弥生布の製作をとおして、衣の歴史を探ります。
縄文土器づくり 野焼き	7月5日(土) 8月23日(土)	30名	中学生～一般	遺跡から出た土器をみて縄文土器をつくり、野焼きをおこなう2日間の講座です。
弥生土器づくり 野焼き	7月21日(月・祝) 8月23日(土)	30名	中学生～一般	遺跡から出た土器をみて弥生土器をつくり、野焼きをおこなう2日間の講座です。
親と子の縄文土器づくり 野焼き	7月27日(日) 8月23日(土)	15組	小学校4～6年生と、その保護者	遺跡から出た土器をみて縄文土器をつくり、野焼きをおこなう2日間の講座です。
親と子のまが玉づくり	9月7日(日)	20組	小学校4～6年生と、その保護者	石のまが玉づくりをとおして、衣の歴史を学びます。

## 親と子の発掘体験教室

・夏休みに県内2ヶ所の発掘調査現場を会場におこなう、発掘体験教室です。

回	期日	場所	募集対象
第1回	8月2日(土)	加茂遺跡(津幡町加茂)	小学校4～6年生の児童と保護者 20組
第2回	8月10日(日)	栄町遺跡(七尾市栄町)	小学校4～6年生の児童と保護者 20組

## 個人随時体験

- ・古代体験ひろばでおこなう、個人や家族連れを対象とした体験で、予約は必要ありません。
- ・火おこし、まが玉づくりなど体験メニューは月ごとに変わり、休日は体験メニューが増えます。

## まいぶん考古学講座

・考古学や埋蔵文化財に関するテーマを、センター職員が講師となり解説します。

日時	講座名	講師
5/25(日)	午後1時 30分～	「弥生時代の玉と交流」
6/15(日)		「縄文集落を考える」
7/13(日)		「台所の考古学」
		調査第1課 久田正弘
		調査第1課 布尾和史
		調査第3課 三浦純夫

## 企画展・ホール展

- ・近年の発掘調査成果の中から選んだテーマによる企画展は、8月1日(金)～31日(日)に当センター特設会場でおこないます。今年度は「この世とあの世をつなぐもの～中世墓の世界」と題して開催しました。
- ・発掘調査の最新情報を中心としたホール展は、年数回展示内容を更新します。9月からは新県庁舎周辺の遺跡を紹介します。

センターの催しものや、現地説明会の案内などを郵送する  
情報提供サービス「まいぶん友の会」会員を受付中です。年会費1,000円。

## 訪ねてみよう加賀・能登の遺跡

### 市指定史跡 三室まどがけ古墳群

七尾市三室町に所在する<sup>みむろ</sup>三室まどがけ古墳群は七尾南湾へ向かって突き出た丘陵に築かれた古墳群です。昭和32年、七尾市の市史編さん事業の一環として調査された1号墳（市指定）は直径およそ22mの円墳で、その中心には全長約9mもある大きな横穴式石室があります。石室の石材は海中にある大きな砂岩（海石）を用いますが、壁の間詰や床面には能登島の偏平な安山岩（須曾石）も使われています。また、石積み方法や入口部の構造が日本海沿岸地域にある古墳と類似点を持っています。これらのことは、三室周辺の豪族たちが日本海を舞台に幅広い活動を行い、それら地域と政治的・経済的交流を持っていたことの証と考えられます。なお、2・3号墳は平成5年に県道拡幅工事に関連して発掘調査を行い、隣接地に移築保存され古墳公園として整備されています。



古墳公園として整備された2・3号墳



まどがけ1号墳の現況



調査時のまどがけ2号墳

交 通：JR七尾駅より車で15分  
住 所：七尾市三室町地内  
お問い合わせ：七尾市教育委員会 TEL0767 - 53 - 8437